



## ご挨拶

冬の寒さが一層厳しい頃となりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、当社では先日会社でハラスメント研修を行いました。社員が増え、年齢、性別、立場がさまざまな中、ハラスメントについて「悪気はなかった」「知らなかった」では済まされない時代となっているため、私自身コミュニケーションの取り方に戸惑うことがありました。

研修を通じて感じたのは、『相手の立場に立って考えること』、『時代に合った職場のスタンダードを全員で共有すること』の重要性です。ハラスメントは受けた側が深く傷つくことはもちろんですが、意図せず行ってしまった側も後から指摘されることで大きな戸惑いやショックを受けることがあります。だからこそ「何が問題になり得るか」「どうすれば互いを尊重できるか」を共通認識として持つことが大切だと感じました。今回の研修をきっかけに誰もが安心して働ける職場づくりをしていきます。（草間）



## 今でも現役！汎用旋盤について



お久しぶりです！営業・購買部の奥谷です。

過去に当社の加工機械(スロッター・横中ぐり盤・ワイヤーカット・門型マシニングセンタ)について紹介してきました。

今回は、歴史ある汎用旋盤を紹介します。

当社は汎用旋盤を3台所有しており、そのうちの1台は機械導入時から40年経った今でも現役で使われています。

汎用旋盤は、主にローラーやガイドといった円筒状の製品を加工する際に使用されます。外径加工・内径加工のほかに溝入れ加工・テーパ加工・ねじ切り加工等、様々な加工方法をコンピューターに頼らず人の手で行います。加工中は機械に付きっきりの状態になるため、NC旋盤やマシニングセンタのように何台も掛け持ちして加工することはできませんが、プログラムを作る必要がないため素材があればすぐ作業に取り掛かれるのが特徴の1つです。そのため、小ロット品を強みとしている当社にとっては必要不可欠な機械です。

私自身、社内の研修期間や社外での研修の際、実際に汎用旋盤を使って加工しましたが、集中力・慎重さが必要だと実感しました。NC旋盤が主流となり、汎用旋盤の担い手がどんどん少なくなっているのが現状です。そんな中、使用できる若手社員がいるということは弊社の強みだと思います。今後も昔からある機械も最新の機械も活躍できたらなと思っています。（奥谷）

